

コロナワクチン接種が進んでいますが、引き続き感染に気を付けて行動しましょう。日々情報が変わりますので新しい情報を入手して対策に取り組みましょう。

災害に備えよう

令和3年3月に発行した「手話で話そう～災害に備えて～」は手話ガイドブックシリーズとして聴覚障がい者が災害時に困ることなどをまとめたものです。令和元年の台風19号災害で被災した聴覚障がい者の体験談に基づいて作成しました。あわせて関連した手話も載っています。



災害時に困ること

- ・声を出して助けを求めるのが困難
- ・防災放送や広報車の放送が聞こえない
- ・避難所になる体育館は音が反響し聞きにくい
- ・避難所で情報が入りにくく不安になったり孤独になりがち
- ・文章の掲示が多すぎて自分に必要な情報なのか判断するのが難しい

こんな工夫をしてほしい

- ・身振りで伝える。
- ・普段のコミュニケーションを考慮し、わかりやすく伝える。口を大きく開けてゆっくり話す、短文で書く、手のひらに書くなど
- ・避難所のお知らせの内容を伝える
- ・避難所の掲示板の情報を整理する
- ・いざというときのために隣近所や民生委員と対応方法を確認する



「手話で話そう～災害に備えて～」の冊子は「おでかけ手話講座」で配布しています。

おでかけ手話講座

会社や団体、グループなどで手話の学習をしたい場合に「おでかけ手話講座」をご利用ください。これは県の事業で共生社会実現のための手話講座としてろう者と交流しながら手話を学びたい場合に手話講師を派遣します。1時間ほどの講座で無料で派遣します。1か月以上前までに申し込みをしてください。



申し込み・問い合わせ

社福 長野県聴覚障害者協会

電話：026-295-3612

メール：info@33nagano.com

県民手帳に手話イラスト

スケジュール帳として使える長野県民手帳に手話イラストが載っています。県民手帳は2種類あり、それぞれ右上に手話イラストが載っています。イラストはどちらも同じです。お手に取ってみたいはいかがでしょうか？



★動画で新着情報のお知らせをしています
ホームページより動画チャンネルをご覧ください。